

四国森林管理局入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成23年1月6日)

開催日及び場所	平成22年10月7日(木曜日) 四国森林管理局会議室			
委員	渡邊 法美 (高知工科大学マネジメント学部教授) 横川 和博 (高知大学人文学部教授) 笹原 克夫 (高知大学農学部教授) 川合 通子 (高知県森と緑の会理事長) 古谷 純代 (高知商工会議所女性会会長)			
審議対象期間	平成22年4月1日～平成22年6月30日			
審議対象案件	165件 うち、1者応札案件64件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件			
抽出案件	53件 うち、1者応札案件 21件 (抽出率32%) (抽出率40%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 0%)			
抽出 案件 内訳	工	一般競争	10件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
	工事希望型競争		該当なし	
	その他の指名競争		該当なし	
	業	任意契約	該当なし	
		一般競争	一般競争	8件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			指名競争	該当なし
		業務	簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
			任意契約	該当なし
		内	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
			その他の任意契約	該当なし
	訳	物品・役	一般競争	35件 うち、1者応札案件 21件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			指名競争	該当なし
		業務等	任意契約(企画競争・公募)	2件 うち、提案者が1者の案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			任意契約(その他)	1件 うち、契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	(特記事項) なし			

	意見・質問	回答等
委員 から の 意見 ・ 質問 それ に 対 す る 回 答 等	<p>○ コンサルタント業務については相変わらず低落率が続いている。</p> <p>総合評価落札方式導入後は改善されるものとの回答を受けてきたが、改善の兆しがないため、早急に何らかの対策を講ずべきである。</p> <p>○ コンサルタント業務のうち、総合評価落札方式が導入されない分野について、価格競争とすると将来的に品質が危ぶまれるため、企画競争の方が望ましいのではないか。</p> <p>○ 素材検知等業務委託において、同一落札率で受注しているものが見られるが、この結果をどのように捉えているか。</p> <p>○ 造林事業は、他の業務に比べて落札率の変動が大きいようだが、どう捉えているか。</p>	<p>○ 林野庁にも局のコンサルタント業務の低入札の状況と対策の必要性について上申しているところである。ご指摘の件についても再度上申したい。</p> <p>○ 企画競争は技術評価と価格競争両方を加味できるものであるが、技術点に重点を置くため価格が高くても採用されるという問題もあることから、総合評価落札方式が採用されることとなったものである。</p> <p>但し、技術的工夫の余地が少ない業務、又は単純な作業である業務については、価格競争で実施することとしている。</p> <p>○ 素材検知等業務は、丸太の数量を確定する検知とそれを集積する巻立の2業務で構成され、m3あたり単価での契約としていることから、見積りに差異が生じにくい業務であるため、同一単価での応札となったと判断している。</p> <p>○ 予定価格の積算にあたっては、作業地の傾斜や車歩道からの距離、繁茂状況等が考慮されるが、応札者は箇所ごとの地理的条件等の差異にかかわらず、作業ごとに単価を過去の実績等に基づき決定している可能性がある。</p> <p>このため、作業地難易によって変化する予定価格に対して、落札率が変動していると考えられる。</p> <p>なお、入札参加希望者は等高線や道路等の施設が表示されている位置図等を閲覧でき、作業地の地理的条件等を把握できる状況となっている。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし	